

地域おこし協力隊“奔走中”

●産業振興担当
芳野 昇です。

りんご農家として独り立ちを目指している協力隊の芳野です。

1月から始まったりんご畑の作業はようやく収穫の時期を迎えています。初めに行った作業は冬の剪定作業でした。フラン病にかかっている木を切り倒し、四方八方に伸びていた枝を切り落とすなど、ほとんど伐採作業のようでした。

春になり花が咲くと摘花作業、そして摘果作業と続きました。摘果は「収穫するときのりんごの大きさを想定して摘果しなさい」と教えてもらっていたので頑張っただけですが、秋になってりんごが赤くなってくると、どう見ても多くなりすぎている木や、小さい実が多くなっている木があるなど、摘果し切れていなかった現実をその赤色が主張してきました。

これからは収穫したりんごを販売するなど最後の作業がありまだまだ気を許せません。

今年は数々の失敗を経験したので、来年以降にこの経験を活かし、りんご農家に近づいていきたいと思っています。



DX

Digital Transformation
デジタル・トランスフォーメーション

日本は63カ国の中で29位



こんにちは。デジタル化推進専門官の渡邊です。今回は「世界デジタル競争力ランキング」について、お話ししたいと思います。

スイスの国際経営開発研究所(IMD: International Institute for Management Development)は毎年世界主要各国のデジタル競争力ランキングを発表しています。今年の9月28日に最新のランキングが発表されました。日本は63カ国中29位と4年連続で順位を落として過去最低記録を更新しました。特に「デジタル・技術スキル」や「ビッグデータ、データ分析の活用」といったDXに欠かせない分野で低い評価となりました。

「デジタル・技術スキル」への対応が進んでいる個人は「学習などスキルアップのための取り組み」「積極的な情報収集」をしており、企業は「社員のスキルアップのための支援」や「積極的なITへの投資」などに取り組んでいるとのこと。

皆さんはデジタル知識を身に着けるためにどのような勉強や取り組みをされていますでしょうか？私がお勧めする方法は、毎日、インターネットで最新のニュースや動画の情報に触れること。そして、テーマを決めて書籍でじっくり学ぶことです。知ったことや覚えたことをあれこれ考えずに実際に試すこと。何事も「知覚動考」*1が大切です。

*1 知覚動考(ともかくごこう)

仏教や禅の言葉の1つ。「知る→覚える→動く→考える」は成長速度が速い人ほど取っている「出来る人の行動パターン」のこと。「動」と「考」の順番が逆の「知覚考動(ちかじかこうどう)」は行動する前に考え過ぎて結果を出せない「出来ない人の行動パターン」のこと。